

【テニス】

# 英明貫禄3連覇女子

## テニス

(大神子コート)

▽男子団体1回戦 新田3-0 鳴門 高松南3-0 土佐2-1 徳島市立3-0 松山東 高知2-1 三木 高松北3-0 高知中央 伊予2-1 城ノ内 高知南3-0 東温 城南3-0 高松校井

▽準々決勝

新田 2-0 高松南  
高松北 2-1 徳島市立  
高松南 2-0 高知南  
城ノ内 2-1 高松北  
新田 2-1 高松北  
城ノ内 2-1 高松南

▽決勝

新田 2-0 城ノ内  
新田は7年ぶり9度目の優勝

▽女子団体1回戦 徳島市立3-0 土佐2-1 高松南3-0 松山東 高知2-1 三木 高松北3-0 高知中央 伊予2-1 城ノ内 高知南3-0 東温 城南3-0 高松校井

▽準々決勝

徳島市立 2-0 高松南  
高松北 2-1 徳島市立  
高松南 2-0 高知南  
城ノ内 2-1 高松北  
新田 2-1 高松北  
城ノ内 2-1 高松南

▽決勝

徳島市立 2-0 高松南  
徳島市立は3年連続3度目の優勝

英明が貫禄(かんろく)の3連覇。川筋美と宮本のペアで固定したダブルスが安定して白星を拾い、岡田監督は「今年は勝てると思っていたなかった。ダブルスのおかげ。インターハイに向けていい弾みになると思う」と満足そうに話した。

真価が問われた決勝。シングルスで川筋美がボ



「テニス女子団体決勝英明-徳島市立」英明の3連覇に貢献した宮本(右)。川筋美組-徳島市大神子コート

「1年生の時のインターハイで緊張して何もできなかった悔しさが今の支え」と川筋美。今年の目標はその2年前に記録した同校最高のベスト16を上回ることに。頼れる主将は「大事なところでいかにきょうのように思い切りやれるか。それができれば必ず結果はついてくる」と活躍を誓った。

イントを落として1-1でいる。川筋美に引っぱり、勝敗がダブルスに委ねられた。主将でもある川筋美は「重圧が掛かる場面こそ思い切っ

# 高松一33年ぶり栄冠男子

## バドミントン

(高知県立青年センター)

▽男子団体1回戦 高松3-1 高知西 新居浜東3-1 城南 西条農3-0 徳島科学技術 英明3-1 土佐 徳島南3-1 松山北 高松南3-0 高知商 高松東3-0 高知南 高松東3-0 高知南

▽準々決勝

高松 3-1 新居浜東  
高松南 3-0 土佐女  
高松東 3-0 新居浜東  
香川中央 3-0 高知西  
香川中央 3-1 高松南  
香川中央 3-0 高松東

▽決勝

高松 3-1 高松一  
高松一は33年ぶり3度目の優勝

▽女子団体1回戦 新田3-0 鳴門 高松南3-0 土佐2-1 徳島市立3-0 松山東 高知2-1 三木 高松北3-0 高知中央 伊予2-1 城ノ内 高知南3-0 東温 城南3-0 高松校井

▽準々決勝

新田 2-0 高松南  
高松北 2-1 徳島市立  
高松南 2-0 高知南  
城ノ内 2-1 高松北  
新田 2-1 高松北  
城ノ内 2-1 高松南

▽決勝

新田 2-0 城ノ内  
新田は4年ぶり3度目の優勝

体力落ちたが気持ちで勝った

高松一

〇…バドミントン男子団体は今春の選抜大会4強の高松一が33年ぶりの頂点に立った。主力の一人、山中は県総体で目を負傷し、実戦練習に復帰したのは大会のわずか2日前。決して万全な状態ではなかっただけに、監督は「四国は勝てないかと思っていた。みんなよく頑張った」と選手の健闘をたたえた。

昨大会決勝で敗れた新田に雪辱した。実戦から遠ざかっていた山中はシングルルスで逆転負けを喫したが、木村と組んだダブルスで相手エースペアに競り勝ち初優勝に貢献。指揮官も「体力は落ちていたが、気持ちが入っていた」と評価した。

昨インターハイは同校39年ぶりの16強に進出。ほぼ同メンバーで挑む今夏は初の8強以上が期待され、林監督は「ダブルスが全国レベルに比べるとまだまだ。もっと強くなりたい」とさらさらの奮起を求めた。

# 尽誠2年アベックV

## ソフトテニス

(高知市東部総合運動公園)

▽男子団体1回戦 高松3-0 高知西 済美3-0 高松南 2-1 川島 寒川2-1 明徳義塾 今治東3-0 中村 東光工3-1 香川西 徳島科学技術3-0 宿毛 尽誠2-1 新田

▽準々決勝

高松 2-1 松山東  
高松南 2-0 高知東  
今治東 2-1 東光工  
香川西 3-0 徳島科学技術  
宿毛 2-0 高松南  
高松南 2-0 高知東  
今治東 2-1 東光工  
香川西 3-0 徳島科学技術  
宿毛 2-0 高松南

▽決勝

高松 2-0 高松南  
高松一は2年ぶり17度目の優勝

▽女子団体1回戦 高知南2-1 済美 高松南2-1 城北 西条 2-1 阿波 高知小津2-1 英明 高松南3-0 中村 松山南3-0 三本松 今治北3-0 明徳義塾 尽誠3-0 池田

▽準々決勝

高松南 2-0 高知南  
高知小津 2-0 西条  
松山南 2-0 今治北  
高知南 2-0 高松南  
高知小津 2-0 松山南

▽決勝

高松南 2-0 高知小津  
高松南は2年ぶり16度目の優勝

戦術試す余裕も

尽誠女子

〇…ソフトテニスの団体は尽誠が2年ぶりのアベック優勝を飾った。

男子は昨インターハイ優勝の主力が残り、春の選抜大会でも準優勝するなど全国トップ級の戦力を誇るだけに、浮かれた様子ではなかった。塩田監督は「ダブルスで勝たなければ」と思っていたので、まあ、選手たちはいつも通りのプレーをしてくれたと淡々と語った。

寒川との県勢対決となった決勝も、吉田・井口と白井・能口がともに4-0と力の差を見せつけた。第1セットで臨むインターハイは各校からマークされる存在となるが、塩田監督は「受けて立つのでなく、チャレンジする気持ちが大仕事」と連覇に向け、静かに意欲をかき立てていた。

一方、選抜大会8強の女子も今大会はあくまで調整の場。伊加監督は「どういうペアリングがいいか試していた」とインターハイしか眼中にないことを明かした。

昨年末に国際ジュニア大会を制した2年生の小林を軸にした層の厚い布陣で、初戦から決勝まで4試合連続でストレート勝ち。市坪・佐竹ペアのダブル後衛など「全国」に向けてさまざまな戦術を試した。

それでも指揮官は「ちょっと楽に勝ちすぎた。もう少し崖っぷちに立った試合でペアリングを試したい」とさらさらのレベルアップを求めた。

【バドミントン】

【ソフトテニス】